

筑後市総合戦略の目標は

北島 一雄 議員

答 いきいきとした暮らしやすいまちづくり

問 筑後市総合戦略の進捗状況、目標は。

市長 1月末までに案をまとめたい。目指すべき将来の方向として①雇用の確保②新しい人の流れづくり③安心して子どもを産み、育てられるまちづくり④豊かな心を育み、筑後に愛着を持つ人材の育成⑤安心安全で活力あるまちづくりの5つの柱を考えている。

問 筑後市総合戦略策定支援業務委託について、

選定の方法と予算額は。

企画財政課長 プロポーザル方式(※)で事業者を選定し、費用は約1000万円。応募業者は少数だった。

問 筑後市では人口をターゲットに施策を展開し成功したが、数値的に5万人は無理。過去の政策分析や立地の良さを生かした次の目標は。

市長 人口5万人を目指してきたが、おそらく届かないと思う。いきいきとした暮らしやすいまちづくりを目指す。

近隣市との連携は必要

問 久留米市を中枢都市とする広域中枢都市圏の形成など新たな広域連携が進む中、市の基本的な考えは。

市長 地方創生では広域連携も有効な手段だ。必要に応じて行っていく。

※プロポーザル方式とは、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行ったものを選定すること。



筑後市総合戦略人口ビジョン(案)

ふるさと納税で 税収確保を

富安 伸志 議員

問 筑後市はふるさと納税の取り組みが低調だがこのことをどのように受け止めているのか。

企画財政課長 税制改正が想定を超える反響であり、この状況を真摯に受け止め、取り組みの遅れを率直に反省し、速やかに改善を行いたい。

問 ふるさと納税に関して地方交付税への影響は。企画財政課長 ほとんど影響はない。

問 ふるさと納税対策を遅ればせながら強化するべきと思うが見解は。

市長 遅れを取り戻すためにも、年明け早々にも見直しを行い充実したものにしたい。またクレジット納付についてもできるだけ早い時期に実施したい。

高齢者の居場所が必要では

問 介護保険法改正に伴い一部の事業が市の総合事業へ移行する。課題のひとつは、高齢者が集える居場所の確保であると思うが。

高齢者支援課長 居場所としては、高齢者が自力で歩いていける場所だが、地域の公民館が理想的だと思う。

答 対策を早急に見直し、遅れを取り戻す

問 公民館は、施設として使いやすい状況なのか。

高齢者支援課長 トイレの洋式化など必要で、施設整備補助金制度の周知活用を進めたい。



ふるさと納税返礼品で人気の筑後市産あまおう